○水生生物モニタリング調査結果一覧(相馬市沖L)

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

- 1144-3 -1-11	71.74/247421110	71.												
項目	一般分	析項目	放射性物質分析項目											
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)								
L-2	0	0	0	0	0	0								

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯原	度・経度	調査日時			水質		底		その他		
調査地点	緯度	経度	日	時刻(水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深(m)	透明度(m)
L-2	37. 8155°	140. 9763°	R3. 10. 25	10:48	11:03	19.0	19. 0	砂	7. 5Y4/2	貝殻片	1.0	>1.0

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯	度・経度		日時	pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
L-2	37. 8155°	140. 9763°	R3. 10. 25	10:48	8. 1	0.6	1.8	8. 9	4830	32. 50	1.2	3	1.8	N. D. (0. 0015)	0.017	0.00080

注)N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調本 給F	度・経度	調査	口時										粒度	組成						
クロー クロー	I/II . 小牛/:	文、胜汉	刚且	□ n4.	рН	酸化還元電位	含水率	IL	TOC	土粒子の密度	礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	中央粒径	最大粒径	Cs-134	Cs-137	Sr-90
	(会)在	级审		時刻		E _{N. H. E}					$(2\sim75\text{mm})$	$(0.85 \sim 2 \text{mm})$	(0.25∼0.85mm)	$(0.075 \sim 0.25 \text{mm})$	$(0.005 \sim 0.075 \text{mm})$	(0.005mm未満)					
調査地点	样及	程及	P	时刻		(mV)	(%)	(%)	(mg/g-dry)	(g/cm^3)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(mm)	(mm)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)
L-2	37. 8155°	140. 9763°	R3. 10. 25	11:03	7. 7	234	22. 2	1. 7	3. 9	2.711	0.4	1. 3	40. 7	43. 3	5. 0	9. 3	0.21	4.8	2. 9	73	N. D. (0. 13)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯月	度・経度	採取日	BB	◆図	П	£1	£1 25 5	In 12	個体数	採取重量		特記事項		放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90
地点		緯度	経度	休収口	[7]	利啊	Ħ	1 ⁺	子名	和名	1回149数	(kg-wet)	成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	(Bq/kg-wet)
				R3. 10. 21	藻類・植物	_	-	-	_	プランクトン (浮遊藻類)	_	0.013	-	_	-	14	N. D. (2.8)	14	_
				R3. 10. 25	軟体動物	二枚貝	力キ	イタホ゛カ゛キ	Crassostrea gigas	マガキ	10	0. 19	未成体/成体	_	軟体部	0.33	N. D. (0.40)	0.33	_
L-1	松川浦	37.8210°	140. 9610°	K3. 10. 25	軟体動物	二枚貝	マルスタ゛レカ゛イ	マルスタ゛レカ゛イ	Ruditapes philippinarum	アサリ	30	0.11	成体	_	軟体部	0.80	N. D. (0.40)	0.80	_
L-2		37. 8155°	140. 9763°		脊椎動物	硬骨魚	力サコ゛	アイナメ	Hexagrammos otakii	アイナメ	1	0.030	未成魚	īt 類	内臓除去	N. D.	N. D. (1. 6)	N. D. (1.2)	_
L-3		37. 8217°	140. 9765°	R3. 10. 21	脊椎動物	硬骨魚	カサコ゛	フサカサコ゛	Sebastes cheni	シロメバル	11	0. 12	未成魚	_	_	0.64	N. D. (0. 44)	0.64	_
			(K5. 10. 21	脊椎動物	硬骨魚	スス゛キ	ホ ゛ラ	Mugil cephalus cephalus	ボラ	15	0.15	未成魚	_	_	9.14	0.44	8. 7	_
					脊椎動物	硬骨魚	スズ゛キ	メバル	Sebastes schlegelii	クロソイ	1	0.19	未成魚	加類	内臓除去	0.70	N. D. (0.35)	0.70	_

- ※1:生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2:水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3:複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4:生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、 除去して測定した。
- %5:プランクトン (浮遊藻類) とは、湖沼水または海水を $40\,\mu$ mのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
- ※6:河床付着物(藁類を含む)とは、石に付着した藁類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- % 7 : N.D. は、not detected (検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8:放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。